

木の会だより

木の会 HP PC アドレス <http://kinocai.web.fc2.com/>

携帯アドレス <http://kinokai.bbs.fc2.com/>

☆ 例会日程 ☆

10月 担当2班

6日…講座室

13日…講座室 (役員会)

20日…講座室

27日…講座室 学習会打ち合わせ
ろう者と話そう!



11月 担当1班


3日…祝日 (休み)


10日…講座室 (役員会)


17日…会議室

24日…講座室 学習会打ち合わせ
ろう者と話そう!

★ 行事予定 ★

 つくる会主催のいも掘り
日時 10月9日(日)
場所 手賀の丘 午前10時
雨天10月10日

 つくる会主催の秋獲祭
日時 10月16日(日)
場所 千葉聴覚者センター 午前10時

 市民まつり
日時 10月30日(日) 午前9時
場所 総合運動場 (バザー)
生涯学習センター(手話コーラス、ミニ手話教室)

★今回は手話通訳者の方にお話を伺いました★

今月は「N」さんです。

—私の場合は、まず職場にろう者の方がみえてコミュニケーションが取れない事からコミュニケーション方法を考えようという所から始まりました。

医療関係者でしたので、コンプライアンスは極力100%でなくてはならないという気持ちがあり、どうしたものかと思っていました。通訳の方を伴って来て下さる場合は伝えられたかな?と思えるのですが、そうでない方も多くいらっしゃる。伝えられているのかいないのかも分からない。私自身が困っていました。

同じ職場の手話サークルに通っている方から手話サークルの存在を聞き、手話サークル(木の会)の会員の方から市の講習会の事を聞き、その流れで県の講習会の事を聞き、全通研の大会、ろうあ者大会の事を聞き、とりあえず何でも参加し、手当たり次第貪欲に色々な事を吸収しようと思いました。サークルの先輩が凄く配慮して下さり例会で通訳して下さいたり、相談にのって下さったり。流れ流れて色々な経験をしましたが、財産だと思います。



通訳になりたいと思ったのは、サークルに居たからかな?と思います。手話がまだ分からないうちから、父ちゃん、兄ちゃん、母ちゃん、姉ちゃんのような感じでろう者の方、サークルの方が世間知らずの私に色々教えてくださった。だから目指したのだと思います。

★手話通訳士と手話通訳者の違い★

みなさん、手話通訳士と手話通訳者は同じと思いがちですが・・・。

手話通訳士とは、厚生労働省が聴力障害者情報文化センターに実施を委託している手話通訳技能認定試験に合格した人のことです。

聴力障害者情報文化センターに登録することで資格が得られます。

手話通訳者とは、社会福祉法人全国手話研修センターが実施する手話通訳者全国统一試験に合格した人の事です。

さらに都道府県の独自審査に合格すると都道府県認定の手話通訳者となります。

手話通訳士の方も手話通訳者も県や市に登録しています。

流山市の手話通訳士は他のサークルの方と前回で掲載した木の会のKさんの2名です。

—今号は、いろいろな行事があったので、参加した方に感想を伺ってみました—

★ デフ協会主催納涼会に参加して ★

8/6 江戸川台駅より少し歩いたところの中華の店「王城園」で、行われました。私の顔を見て「珍しいね～」なんて、他のサークルの方に言われたように、数年ぶり、2回目の参加でした。デフ協会員と各々のサークルから参加、総勢19名。お顔は知っているのですが、名前が分からず、短い自己紹介の後、今度はちゃんとお名前を覚えておこうと思ったのでした。他のサークルの方々と、話をするには最も良い機会です。お酒も進んで、話も盛り上がりました。皆、自分の所属するサークル以外は、なかなか、行くきっかけがつかめないでいる様子です。木の会にも行ってみようかな～っという話になったので、いつでもどうぞ！と、お誘いしたのでした。

<Kさん>

★ 木の会納涼会に参加して ★

今年に入会して二年目になります。去年は八月最後の木曜日は毎年納涼会を行っていることを知らず、翌日を健康診断の日にしてしまった為、参加出来ませんでした。それがとても残念に思っていたので、今年は健診を避けて参加しました。普段あまり話さないろう者の方とも少しですが話しができ、有意義な飲み会でした。来年はもう少し上手に手話で話せるようになっていきたいです。

今だにヨン様大好き♡

★ 黄色組みミュージカル ★

この手が僕らの歌声になる」by きいろぐみ 観劇ご報告♪

手話パフォーマンス きいろぐみさんの「この手が僕らの歌声になる」を観るべく客席の一番前で、思いっきり出演者の方々と目線がぶつかるところで観劇しました。ストーリーは手話の星からきた宇宙船が地球に不時着し、地球に降り立った手話星人達が地球人（そこには難聴児の子供をどう育てていくか悩んでいる母親や、デフファミリーで育った女性が登場します。）と交流するというもので、作品全編に聞こえない人にとっての大事は言葉である手話が多くの人々に広がって欲しいと願うメッセージが込められています。

このストーリーを柱に、観客参加型ということで、出演者と観客が一緒に手話をする場面や、4人の観客が舞台上がって、手話を教わりながら会話を楽しむという場面もありました。4人の中にはかなりの好男子もいて、その彼に「あなたが好き、付き合ってください」と言われ、相手方のおばさまは「よろしくお願いします」とお返事していらっしやいましたが、こんなことなら私が立候補していればよかったと一瞬悔やみました(笑) 舞台後半にはハンドサインというイケメン若手5人組が登場し、手話パフォーマンスを披露し会場を盛り上げていました。



こういったなか、すばらしいなと思ったのは出演者のうち半分以上がデフの方々なのに音楽に合わせて手話で歌い、見事なダンスを披露していたことです。おそらく並々ならぬ練習を積まれたんだと思います。そしてなにより一番感動したのは、わが木の会のマドンナの存在のM.Nさんが舞台上でより一層素敵で輝いていたことです。バレエで培った手先、足先の使

い方とか、リズム感は図抜けていて、お世辞抜きで「ダンスうまっ!!」と目が釘付けになりました。これで初参加だということだから末恐ろしい、次回公演が楽しみです。
この報告文を書いていたら、早くも、も一回みたくくなりました。次回公演の際には是非皆様と一緒にしませんか
〈Hさん〉

★全通研に参加して★

2回目の九州

皆さんが納涼会で大酒を飲んでいる時、私は長崎県諫早市で同期入社の人達と38年振りの再会を果たしていたのです。

二日酔いの翌日に高速バスで長崎から大分県別府温泉に行き「第44回全国手話通訳問題研究会 in 大分」に参加し、色々な講師のお話を聞いてきました。集会は2泊3日で初日は記念講演、今年は東京大学大学院教授でマスコミでも活躍されている姜尚中氏による「コミュニケーションの限界と可能性」。2日目からは講座ごとの講演があり私は「権利」の講座を選択し①ろうの弁護士である山田裕明氏の「司法通訳場面で聴覚障害者の権利を守る手話通訳とは」②NPO法人北九州ホームレス支援機構理事長の奥田知志による「絆が人を生かす」③ハンセン病、薬害エイズ、在宅障害者関連の裁判で弁護団の共同代表を担った弁護士の徳田靖之氏の「社会的弱者の権利を守る」④緩和ケア専門の大分ゆふみ病院院長の一万田正彦氏による「人の命の尊厳」。頭に残っている言葉を一つ。③「兄さんも苦労したんだね」・・・普段おとなしくハンセン病裁判闘争に参加しそうにもないと、思われてた患者さんが理由を聞かれた時の言葉です。その患者さんが苦労話（両親の葬儀にも参加できないなど）を話しているテレビを見た妹から電話があり数十年ぶりに話した時、妹さんが言った「兄さんも苦労したんだね」という言葉を聴き自分だけではなく両親家族も含め隔離された自分以外の苦労（差別）を知り社会に対し知らしめる必要があると思ったそうです。自分も知らず知らずのうちに差別しているのでは？人は一人では生きていけないのに弱いもの虐め（差別）しちゃいけないよね。

最後はおじさん一人で「湯布院温泉」に宿泊。九重で面白い水を体験して無事帰宅。

* 「全日本ろうあ連盟」と「全国手話通訳問題研究会」が共催の全国集会は2つ（上記夏の集会と冬の討論集会）があります。冬は会員限定です。
〈S.Kさん〉

★9月19日(祝)、第30回東葛飾地区ろうあ者ソフトボール大会に参加して★

ソフトボールの試合に出るのは、10年ぶりです。

誘われた時は、スタッフのお手伝いかと思っていました。

今迄ほとんどの行事に参加ができなかったので、日程があった時はすごく嬉しかったです。

もしかして、「参加選手？」気づいた時は、どうしようか、迷いました。

でも、おもいきって、参加して良かったです。

選手の皆様には、ご迷惑をお掛けしました。

日頃、例会では、気づかないことも、ソフトボールをとおして、わかる事もあり、有意義のある1日でした。スポーツは、いいですね。

楽しく親睦が、深められ、無事に終わる事ができたのも、スタッフの準備、段取りが、良かったからだと思います。

お疲れ様でした&ありがとうございました。心から感謝しています。

機会があれば、また参加させてください。



〈Iさん〉

★「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」について★

木の会の皆さまへ簡単に説明させていただきます。

4～5年前だったと思います。当時の会長が、流山市手話サークル木の会の名前で「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録しました。老人介護団体、子供の絵本の読み聞かせ団体、障害者団体など、いろんな団体が登録しています。

毎月11日の「イオン・デー」に実施する「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、応援したい団体の投函BOXへ入れていただき、お買い上げ金額合計の1%をそれぞれの団体に還元され、イオンで希望の商品を購入するというシステムです。

H23年度上期（3月～8月）の金額は5,900円でした。

9月に連絡させていただきました下期の継続につきましては、会員数27名中、18名が賛成でしたので継続手続きを致しました。

毎年の購入品は、事務用品（コピー用紙、インクジェットなど）市民祭りのお弁当などです。決して豊かではない木の会の財政事情に有難いシステムです。

※ご質問等あればいつでも会長までご連絡ください。

編集後記

厳しい残暑も終わりようやく秋らしくなってきましたね。秋といえば食欲・スポーツ・読書等ありますが、会員の皆様はどのような秋を過ごされるのでしょうか？

例会でお話し聞かせてくださいね(^0^)/

次回は11月末の発行です。